

東京都地域医療医師奨学金見直しに関するアンケート 集計結果

(令和元年12月/2年1月東京都福祉保健局)

1 調査の目的

被貸与者へのアンケート調査を通じて、現行制度の効果検証を行うとともに、制度変更を行った場合の実効性を検証するため

2 調査について

東京都地域医療医師奨学金（特別貸与）被貸与者242名に対して、「受験理由・併願大学」、「現行制度と条件が異なっていた場合の受験の有無の想定」及び「総合的な満足度」について、アンケート調査を実施

調査期間： 令和元年12月27日～令和2年1月5日

回答状況： 214名 / 242名 (回収率 88.4%)

3 調査項目

○地域枠制度を利用して大学に入学した理由

○併願した大学

○貸与額の条件が異なっていた場合の東京都地域枠（現在通っている大学）の受験の有無の想定

○勤務地の条件が異なっていた場合の東京都地域枠（現在通っている大学）の受験の有無の想定

○地域枠制度を利用して大学に入学したことの総合的な満足度

1. 地域枠制度を利用して大学に入学した理由

【質問事項】

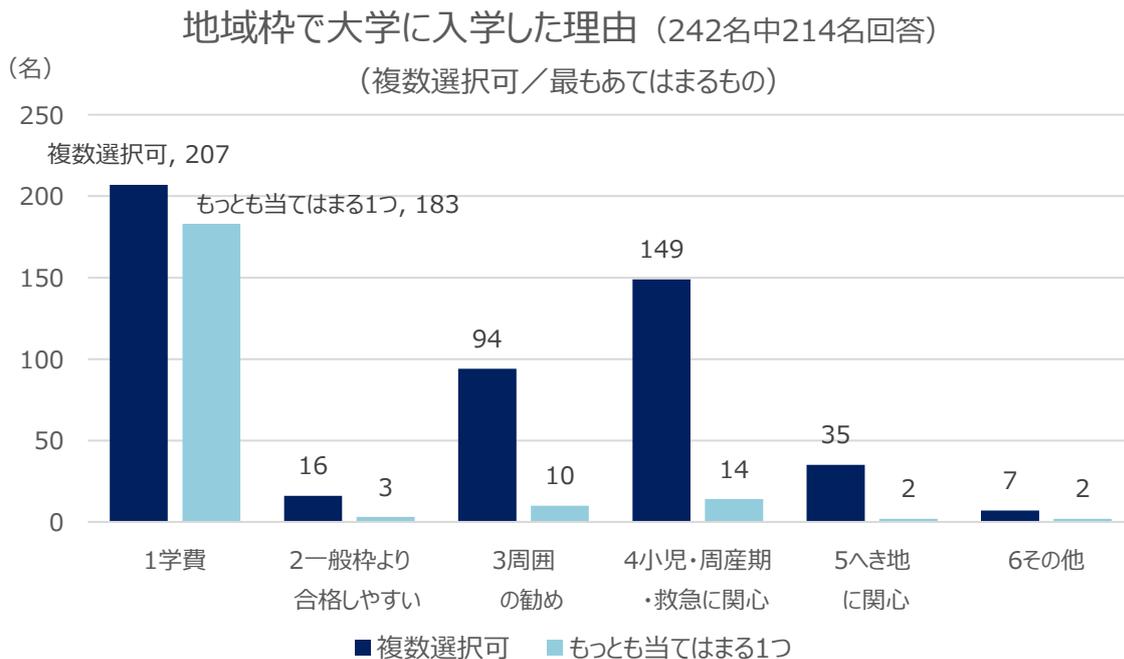
1 東京都地域枠で大学に入学された理由を教えてください。
 【1】はあてはまるもの全てを選択してください。【2】は最もあてはまるもの1つを選択してください。

あてはまるものすべて ↓ 【1】
 ↓最もあてはまるもの1つ 【2】

1	学費の負担が実質的にかからないため		
2	一般枠よりも合格しやすいと考えたため		
3	周囲の人(家族・塾関係者等)からの勧めがあったため		
4	小児医療・周産期医療・救急医療に関心があったため		
5	へき地医療に関心があったため		
6	その他 ()		

※「6 その他」を選択した方は、()内も記入してください。

【回答集計】



- ・「1 学費の負担が実質的にかからないため」を選択した者は214名中207名（96.7%）で最も多い。
- ・「2 一般枠よりも合格しやすいと考えたため」を選択した者は214名中16名（7.5%）と少ない。
- ・「3 周囲の人（家族・塾関係者等）からの勧めがあったため」や「4 小児医療・周産期医療・救急医療に関心があったため」を選択した者も多いが、最もあてはまる選択肢として回答した者は少ない。
- ・「5 へき地医療に関心があったため」を選択した者は214名中35名（16.4%）
- ・「6 その他」選択者は「医学部入学の選択肢を増やすため」が主な理由

2. 併願した大学

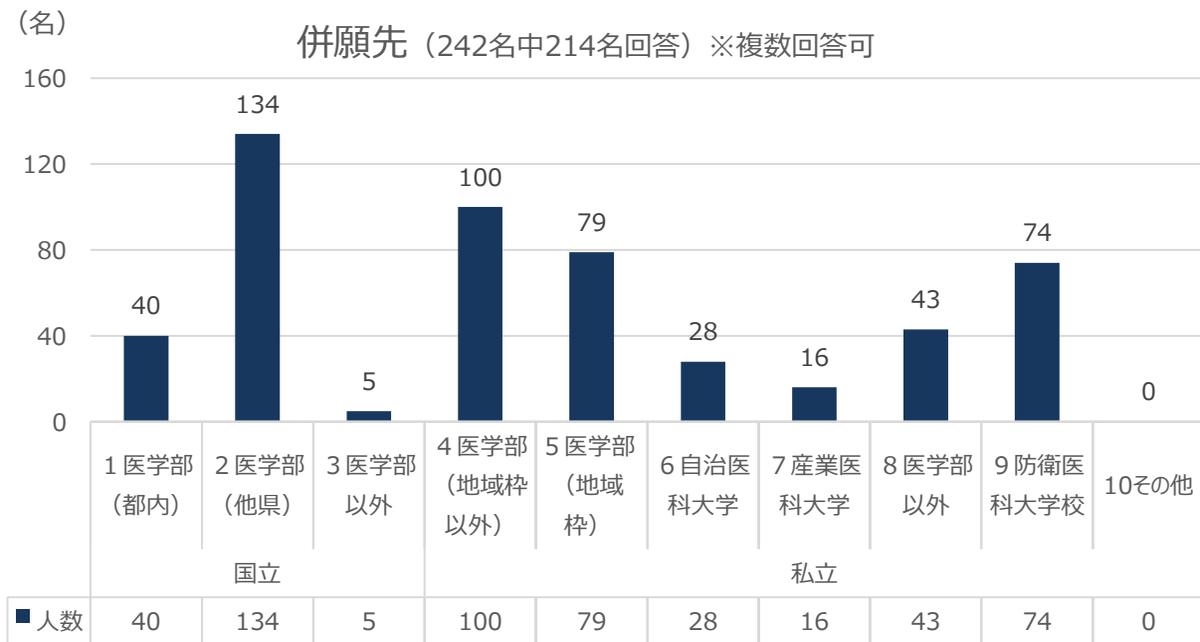
【質問事項】

2 併願した大学を教えてください。(あてはまるものをすべて選択してください。)

国公立	1 国公立医学部(都内)	
	2 国公立医学部(他県)	
	3 国公立(医学部以外)	
私立	4 私立医学部(地域枠以外)	
	5 私立医学部(地域枠) ※現在通っている大学は含まない。	
	6 自治医科大学	
	7 産業医科大学	
	8 私立(医学部以外)	
その他	9 防衛医科大学校	
	10 その他 ()	

※「10 その他」を選択した方は、()内も記入してください。

【回答集計】



- ・「1・2 国立医学部」出願者は214名中174名(81.3%)と8割以上
- ・国立出願者174名中134名(77.0%)が「2 他県国立」に出願している。
- ・「4 私立医学部(地域枠以外)」出願者は214名中100名(46.7%)と半分に満たない程度
- ・「5 地域枠」併願者は214名中79名(36.9%)と3割程度

○国立大学医学部併願者が多く、また、私立医学部(一般枠)の受験者が半数以下であることから、地域枠被貸与者は、学費負担の軽減を特に重視していることが分かる。

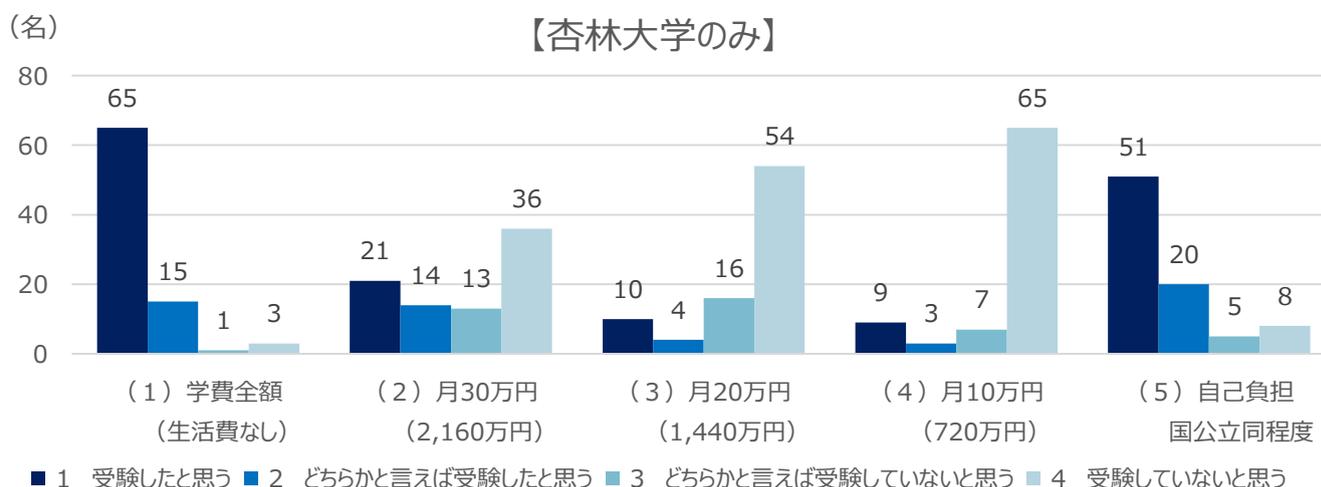
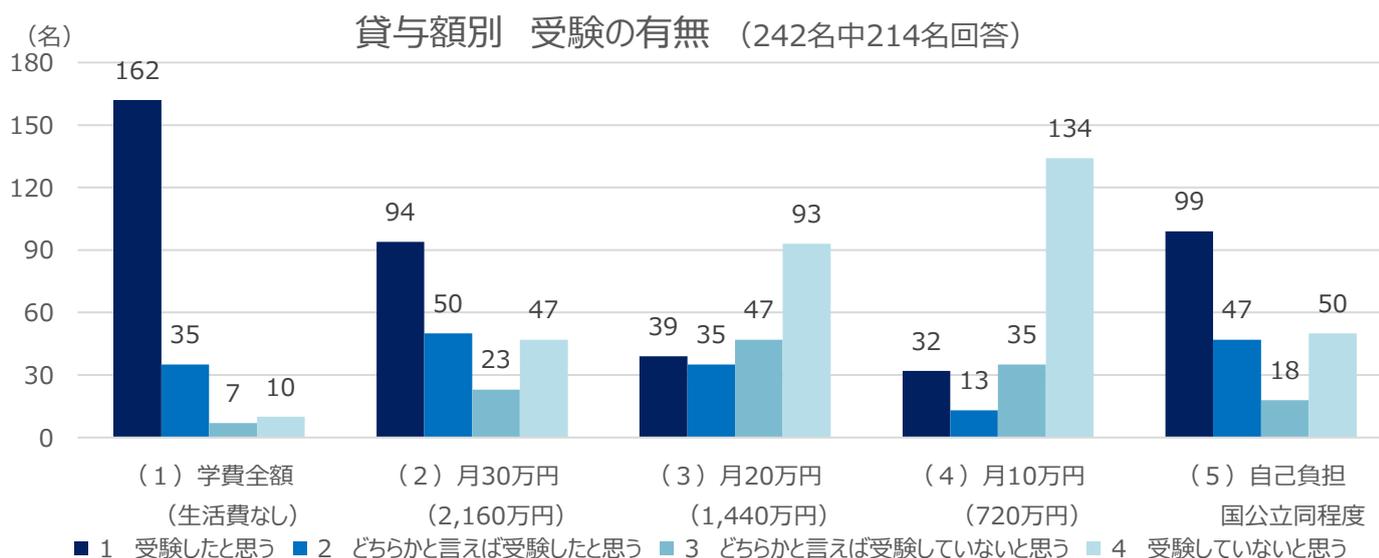
3. 貸与額の条件が異なっていた場合の受験の有無の想定

【質問事項】

3 奨学金の貸与額が以下の金額であった場合、東京都地域枠(現在通っている大学)を受験していたと思いますか。ただし、勤務要件等その他の条件は現在と同じと仮定してください。(プルダウンから選択してください。)

(1) 学費全額の場合(生活費月10万円の貸与なし) (順天堂2,080万円・杏林3,700万円・慈恵2,250万円)	
(2) 月30万円の場合(全大学共通・6年間総額2,160万円)	
(3) 月20万円の場合(全大学共通・6年間総額1,440万円)	
(4) 月10万円の場合(全大学共通・6年間総額720万円)	
(5) 自己負担が国公立と同程度になる金額の場合 ※国公立負担額:6年間総額約350万円(各大学貸与額 順天堂・1,730万円、杏林・3,350万円・慈恵1,900万円)	

【回答集計】



- ・学費全額の場合、242名中197名(92.1%)が「1 受験したと思う」「2 どちらかと言えば受験したと思う」を選択
- ・月20万円以下の場合、242名中74名(34.6%)が「1 受験したと思う」「2 どちらかと言えば受験したと思う」を選択
- ・学費が高額な杏林大学では、月30万円の場合、84名中35名(41.7%)が「1 受験したと思う」「2 どちらかと言えば受験したと思う」を選択

○受験者は「学費全額」貸与に魅力を感じており、学費の自己負担額が増えていくにつれ、受験生の確保・水準維持が困難になる。

4. 勤務地の条件が異なっていた場合の受験の有無の想定

【質問事項】

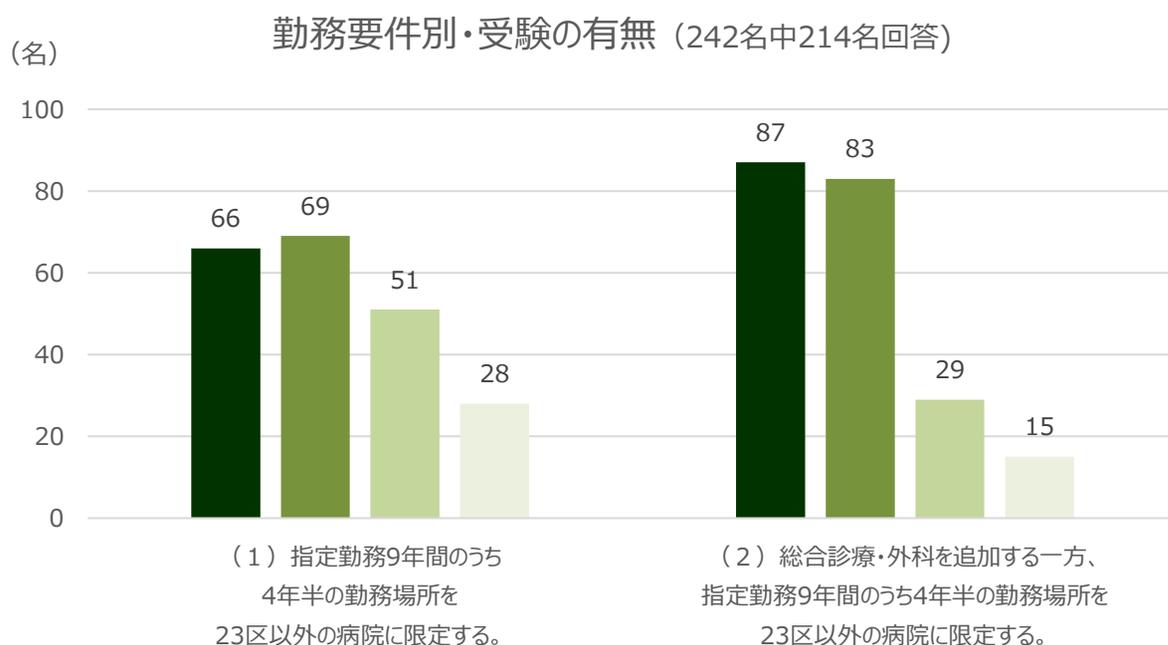
4 奨学金の勤務要件が以下の要件であった場合、東京都地域枠を受験していたと思いますか。
ただし、貸与額等その他の条件は現在と同じと仮定してください。（プルダウンから選択してください。）

(1) 指定勤務9年間のうち4年半の勤務場所を、現在の指定医療機関ではなく、23区以外の病院に限定する。

(参考) [東京都指定医療機関リンク](#)

(2) 現在の小児科・周産期・救急・へき地に総合診療・外科を追加する一方、(1)と同様、指定勤務9年間のうち4年半の勤務場所を、現在の指定医療機関ではなく、23区以外の病院に限定する。

【回答集計】



■ 1 受験したと思う ■ 2 どちらかと言えば受験したと思う ■ 3 どちらかと言えば受験していないと思う ■ 4 受験していないと思う

・多摩地域での勤務要件を設定し、現在の診療科（小児・周産期・救急）のままの場合、
214名中135名（63.1%）が「1 受験したと思う」「2 どちらかと言えば受験したと思う」を選択

・多摩地域での勤務要件を設定し、かつ、診療科を拡大（総合診療・外科）した場合、
214名中170名（79.4%）が「1 受験したと思う」「2 どちらかと言えば受験したと思う」を選択

○多摩地域への勤務要件の設定も、診療科の拡大とあわせて行うことで、受験意欲の低下を防ぐことが可能

5. 総合的な満足度

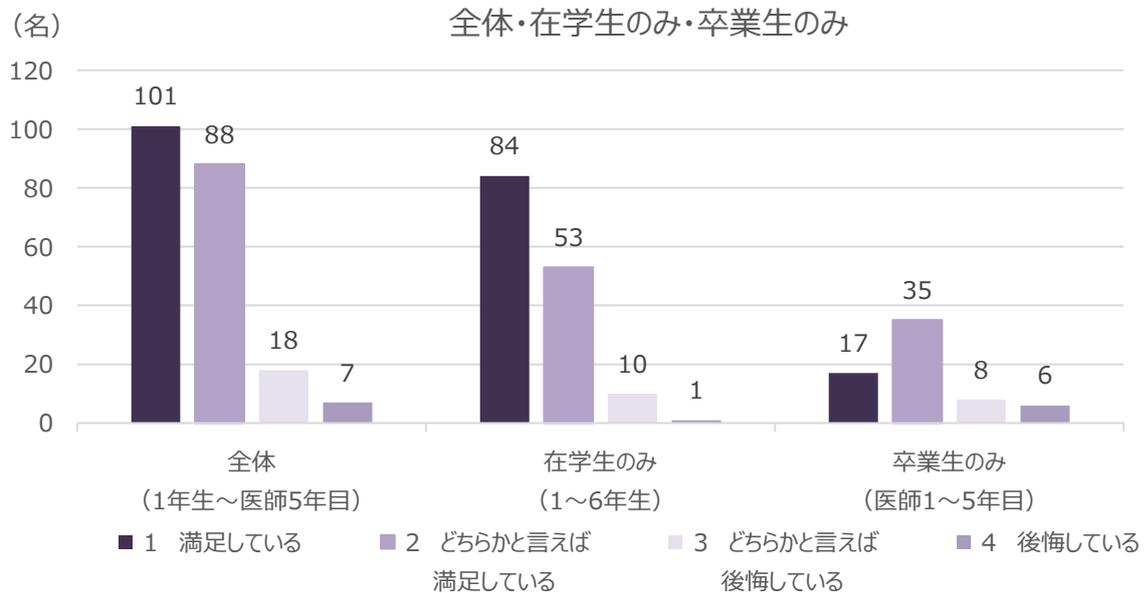
【質問事項】

5 総合的に判断して、東京都地域枠で大学に入学したことに、満足していますか。

自由記述欄(御意見等ありましたら記入してください。)

【回答集計】

地域枠で大学に入学したことへの満足度(242名中214名回答)



- ・214名中189名(88.3%)が「1 満足している」「2 どちらかと言えば満足している」を選択している。
- ・年代別では、在学生のみ(1～6年生)の場合148名中137名(92.6%)が比較的満足しているのに対し、卒業生のみ(医師1～5年目)の場合、66名中52名(78.8%)が比較的満足している。

○全体的に満足度は高いものの、年次が上がるにつれて、選択可能な診療科や臨床研修病院を出身大学附属とすること等をキャリアの制限と感じる者が増える傾向